

『風評被害と社会心理 ～風評のメカニズムと実態、そして立ち向かうために～』

風評被害とは、「ある事件・事故・環境汚染・災害が大々的に報道されることによって、本来『安全』とされる食品や商品、土地などを人々が危険視し、消費や観光を取り止めることによって引き起こされる経済的被害」であり、災害情報や環境情報に付随する社会現象である、ということができます。

今般の東日本大震災と原発災害による風評被害は計り知れない影響をもたらし、日本経済全体にも大きな停滞を巻き起こしました。

本県においても、中越地震（2004）、湯沢町スキー場での雪崩（2006）、中越沖地震（2007）などで、大きな風評被害を被ってきました。

今回のセミナーでは、風評被害の実態とメカニズムを正しく理解するとともに、こうした風評被害に対して県・市町村等の行政職員はどうか、また、その予防対策にはどのようなものが有効なのか、などについて考える機会とします。

1 日 時 平成24年2月13日（月）14:00～16:00（受付開始13:30）

2 会 場 新潟県トラック総合会館 6階 大研修室
新潟市中央区新光町6-4

3 講 師 東洋大学社会学部 准教授 関谷直也 氏

4 申込締切 平成24年1月27日（金） F A X、メール可

5 その他

- ・参加費は無料です。
- ・参加者の決定については後日連絡します。
- ・問い合わせ：新潟県土木部監理課企画調整室（宇佐美）
申し込み：財団法人新潟県建設技術センター情報管理部（湯田）
- ・会場へは公共交通機関をご利用ください。